

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 岩塚製菓株式会社

コード番号 2221 URL <http://www.iwatsukaseika.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 榎 春夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 郷 芳夫

TEL 0258-92-4111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	16,201	4.4	△151	—	1,200	△4.1	698	22.0
22年3月期第3四半期	15,516	△0.6	83	—	1,251	54.7	572	△47.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	120.85	—
22年3月期第3四半期	99.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	59,148		35,579	60.1		6,157.04	
22年3月期	55,139		33,045	59.9		5,717.37	

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 35,565百万円 22年3月期 33,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				13.00	13.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	4.9	100	—	1,430	43.3	730	79.6	126.38

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 ー社（社名 ）、除外 ー社（社名 ）、
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 5,995,000株 22年3月期 5,995,000株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 218,589株 22年3月期 218,589株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 5,776,411株 22年3月期3Q 5,776,482株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中でありませぬ。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成22年11月2日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりませぬ。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(第3四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、政府の景気対策が消費支出の下支えとなり、回復基調を見せたものの、欧米の景気減速懸念や急速な円高の進行により、先行き不透明感が残る状況で推移しました。

米菓業界では、市場規模拡大が苦慮するなかで、メーカー各社のシェア争いは一層激化しております。

このような経営環境におきまして、当社グループは「品質」と「鮮度」重視の姿勢を貫き、シェア確保と主力製品の製造ラインの自動化によるコスト削減を図ってまいりました。

また、米菓業界初の女子中学生とのコラボレーションに取り組み「お米のおいしさ創造企業」として若い世代にも「食」を通じた感動を伝えたいという当社の「企業理念」と、品川女子学院の社会で活躍する女性を育てたいという「教育理念」が合致して新商品が生まれました。なお、開発された商品は、平成23年3月に発売予定であります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、積極的な販売施策を行うことでシェアを伸ばしたことにより売上高162億1百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

利益面につきましては、積極的な販売施策により販売費が増加したことと子会社のギフトの売上が伸び悩んだことにより、営業損失1億51百万円（前年同四半期は83百万円の営業利益）、経常利益12億円（前年同四半期比4.1%減）、四半期純利益6億98百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は591億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して40億9百万円の増加となりました。

流動資産は65億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億39百万円の増加となりました。これは主に、売上債権が増加したこと等によるものであります。固定資産は525億56百万円となり、前連結会計年度末と比較して31億69百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が時価評価により増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、235億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億74百万円の増加となりました。

流動負債は、69億11百万円で前連結会計年度末と比較して1億81百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は166億57百万円となり前連結会計年度末と比較して12億93百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産は、355億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億34百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は3億59百万円（前年同四半期比40%減）となり、前連結会計年度末と比較して1億60百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は3億39百万円の収入（前年同四半期は3億80百万円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を反映したこと等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は6億45百万円の使用（前年同四半期は15億78百万円の使用）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は1億19百万円の獲得（前年同四半期は12億73百万円の獲得）となりました。主な要因は、短期借入金の純増加額を反映したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、欧米経済の減速懸念や長期化する円高の影響等、依然として先行き不透明な状況で推移するものと思われませんが、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえた結果、平成22年11月2日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

当社グループにおきましては、主力商品及び新商品の拡販によるシェア確保、生産効率向上による経費削減に努めてまいります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これに伴う損益に与える影響はありません。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	364,757	523,200
受取手形及び売掛金	4,122,807	3,238,752
有価証券	47,473	19,770
商品及び製品	60,799	45,970
仕掛品	47,702	69,816
原材料及び貯蔵品	463,208	335,582
その他	1,493,514	1,552,969
貸倒引当金	△8,414	△34,108
流動資産合計	6,591,848	5,751,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,544,348	4,588,669
その他(純額)	2,569,471	2,575,824
有形固定資産合計	7,113,819	7,164,494
無形固定資産		
	63,945	59,221
投資その他の資産		
投資有価証券	45,172,867	41,962,490
その他	214,494	209,267
貸倒引当金	△8,563	△8,356
投資その他の資産合計	45,378,799	42,163,401
固定資産合計	52,556,564	49,387,117
資産合計	59,148,413	55,139,073
負債の部		
流動負債		
買掛金	833,098	542,645
短期借入金	4,450,000	4,250,000
未払法人税等	90,208	257,448
賞与引当金	259,370	461,566
その他	1,278,916	1,218,922
流動負債合計	6,911,593	6,730,582
固定負債		
退職給付引当金	893,737	872,042
役員退職慰労引当金	110,865	113,685
繰延税金負債	15,453,031	14,167,607
その他	199,532	209,933
固定負債合計	16,657,167	15,363,267
負債合計	23,568,760	22,093,850

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	6,776,685	6,153,679
自己株式	△365,523	△365,523
株主資本合計	9,905,162	9,282,155
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,686,078	23,762,999
為替換算調整勘定	△25,670	△19,263
評価・換算差額等合計	25,660,407	23,743,735
少数株主持分	14,082	19,331
純資産合計	35,579,652	33,045,223
負債純資産合計	59,148,413	55,139,073

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	15,516,371	16,201,162
売上原価	9,962,908	10,306,216
売上総利益	5,553,462	5,894,945
販売費及び一般管理費	5,470,260	6,046,562
営業利益又は営業損失(△)	83,202	△151,617
営業外収益		
受取利息	15,389	17,002
受取配当金	1,117,816	1,289,282
その他	82,040	80,397
営業外収益合計	1,215,246	1,386,683
営業外費用		
支払利息	30,231	19,000
有価証券評価損	148	2,052
持分法による投資損失	3,270	7,194
その他	13,050	6,681
営業外費用合計	46,702	34,928
経常利益	1,251,746	1,200,137
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	23,961
その他	440	592
特別利益合計	440	24,553
特別損失		
固定資産除却損	4,186	2,564
投資有価証券評価損	24,012	23,211
その他	231	41
特別損失合計	28,431	25,816
税金等調整前四半期純利益	1,223,756	1,198,874
法人税、住民税及び事業税	543,550	414,039
法人税等調整額	113,096	90,455
法人税等合計	656,646	504,495
少数株主損益調整前四半期純利益	—	694,379
少数株主損失(△)	△4,902	△3,720
四半期純利益	572,011	698,099

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,250,567	6,112,110
売上原価	3,725,836	3,724,680
売上総利益	2,524,730	2,387,430
販売費及び一般管理費	2,075,220	2,035,806
営業利益	449,510	351,623
営業外収益		
受取利息	5,604	5,585
受取配当金	6,217	6,033
その他	45,703	29,083
営業外収益合計	57,525	40,702
営業外費用		
支払利息	9,803	7,007
有価証券評価損	—	708
持分法による投資損失	2,813	6,748
為替差損	—	4,722
その他	5,201	1,777
営業外費用合計	17,818	20,965
経常利益	489,217	371,360
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	—	3,670
その他	404	25
特別利益合計	404	3,695
特別損失		
固定資産除却損	2,218	1,077
投資有価証券評価損	19,071	—
その他	177	20
特別損失合計	21,467	1,097
税金等調整前四半期純利益	468,154	373,958
法人税、住民税及び事業税	158,428	80,794
法人税等調整額	31,265	59,525
法人税等合計	189,694	140,320
少数株主損益調整前四半期純利益	—	233,638
少数株主損失(△)	△1,772	△1,483
四半期純利益	280,233	235,122

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,223,756	1,198,874
減価償却費	550,937	605,052
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32,827	△25,486
賞与引当金の増減額(△は減少)	△196,080	△202,195
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,134	21,695
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,216	△2,820
有価証券評価損益(△は益)	148	2,052
投資有価証券評価損益(△は益)	24,012	23,211
受取利息及び受取配当金	△1,133,205	△1,306,285
支払利息	30,231	19,000
持分法による投資損益(△は益)	3,270	7,194
売上債権の増減額(△は増加)	△1,462,779	△916,398
たな卸資産の増減額(△は増加)	△309,157	△111,329
仕入債務の増減額(△は減少)	332,413	289,255
その他	530,792	45,740
小計	△373,749	△352,439
利息及び配当金の受取額	1,118,440	1,291,625
利息の支払額	△29,582	△18,694
法人税等の支払額	△335,084	△581,280
営業活動によるキャッシュ・フロー	380,022	339,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,900
有価証券の取得による支出	△72,128	△34,456
有価証券の売却による収入	63,564	4,245
有形固定資産の取得による支出	△470,581	△553,654
有形固定資産の売却による収入	—	1,116
無形固定資産の取得による支出	△2,584	△10,580
投資有価証券の取得による支出	△6,673	△4,778
投資有価証券の売却による収入	26	—
貸付けによる支出	△1,090,000	△45,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,578,376	△645,008
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,630,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△276,000	—
配当金の支払額	△74,943	△75,000
自己株式の取得による支出	△238	—
その他	△4,921	△5,248
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,273,897	119,750
現金及び現金同等物に係る換算差額	△22,549	25,703
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	52,993	△160,342
現金及び現金同等物の期首残高	546,445	520,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	599,438	359,657

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
当社グループは、米菓事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。